**３**

みず　ぶ　　　　　　　　　　　　　　　　　かいせつ

|  |  |
| --- | --- |
| １ | ※【の】　①だしなみを |
| ２ | ※【の】　②を  (260gの)  バケツ  　のり  ②でをみ、もうのでめをみます。  ③をにねじり、りのやりでをります。  ①をにけます。  Ⅰ－(4)－②－１  Ⅰ－(4)－②－１  Ⅰ－(4)－②－１  ⑤①～③をりします。**がちなくなるくらいまで**ります。  ⑥をまっすぐにえます。  ④しっかりったら、**をにち　えます**。 |
| ２ | のりけ  にじてのをします。まっすぐをばし、からくらいのさにわせましょう。  **にをするため**に、を　にかつぐか、にいて、を　　　しっかりセットします。  この、がたらないよう、**りにして**セットしましょう。 |
| ３ | ※【の】　③、④を |
| ４　き | モップのち  **が**に、**でのをさえ**、はでをります。  をく時はのに、部分をくは　のにモップのがくるようにちます。  きしたは、**のれがかないよう**に、  **いたところをまない**ようにします。  　のき  **にがれないよう**にします。**をつけたり、したりしないためです。**  はに　**をえて**きます。にをつけないためです。  **４**  **から２～３cmす。**  Ⅰ－(4)－②－２ |
| き | のり・・  ※のさなはをけるときやすい。  をく  のにがれない　ようにきます。  　の  モップをにかし、ろにがりながらきます。  いたがしなるように（３の１）すると、きしなくくことができます。    ※になるようにく。    ※きしができるので、　　モップはくかさない。  にを、をでってきます。  **×** |
| ５ | ■いたところをまないようにするため、はでいます。 |
| ６・け | モップはなどにてかけず、　にかせてくようにします。てていておくと、ぶつかったときれてですし、をつけてしまうこともあります。 |
| ７ | ■は、にえることがです。よくにをえるを　しましょう。 |

**５**

Ⅰ－(4)－②－３

は、できるだけよくでうことができるよう、　することがです。

えば、では、からまでのさが1.4ｍとくなって　いるため、からをとしてにをあててくが、ったり　　しゃがんだりすることなく、よくができます。さらにのの　りをけてくようにすると、

のれとしてスムーズに

をめることができます。

にをえてくときには、

が（として）のを

えないようにをつけましょう。



は、にをけながらうことがです。

は、ににむようにいますが、モップのき　だけは、ろきにがりながらいます。そのには、ろにがいないことやがないことをしてから、をめます。

きの、えばで、ろきにがりながらからることは、にろうとしているにぶつかるがあり、です。をしたは、をさせてをいてるように　　しましょう。

Ⅰ－(4)－②－４

**６**

Ⅰ－(4)－②－４